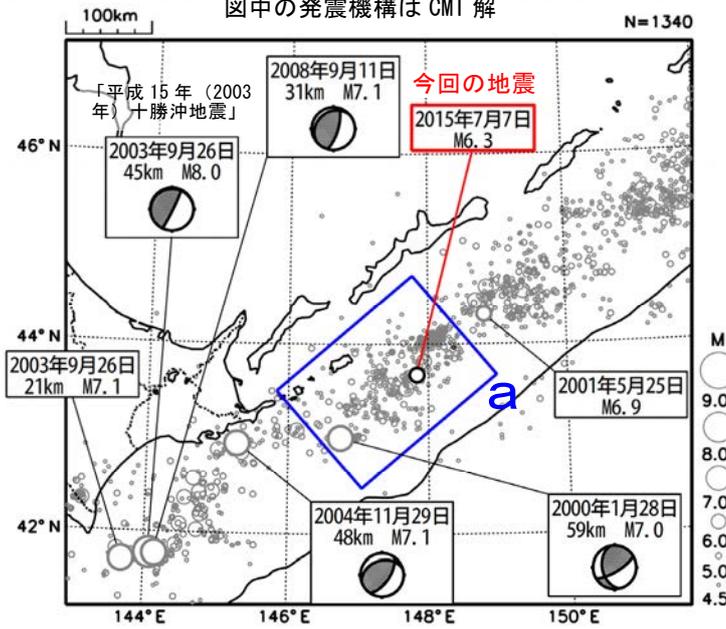
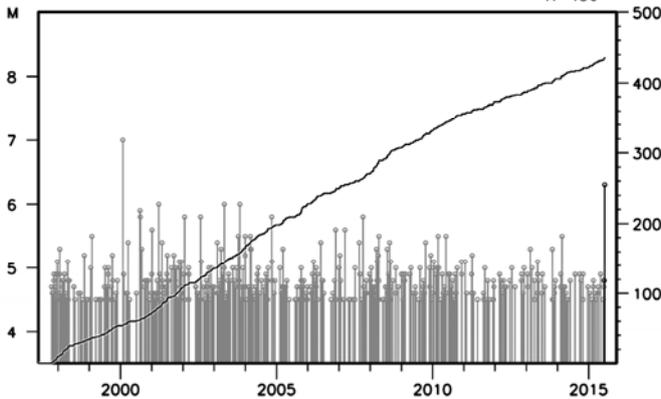


# 7月7日 北海道東方沖の地震

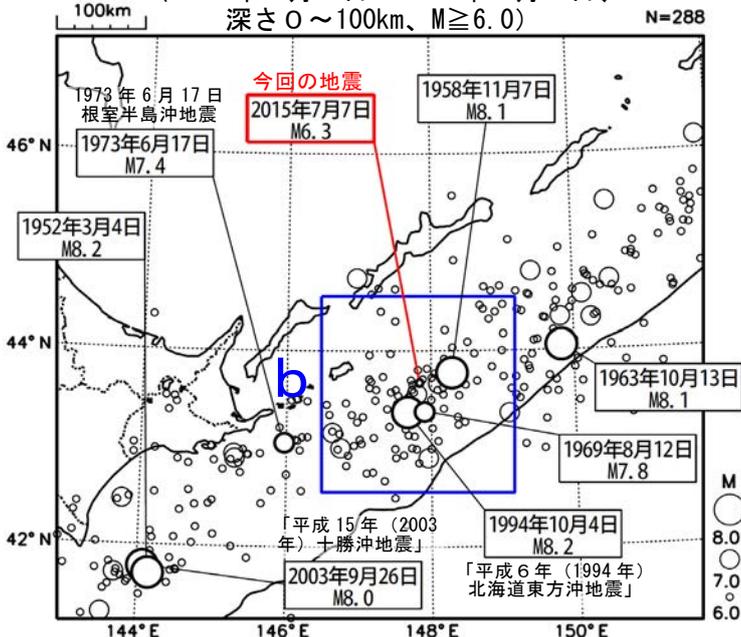
震央分布図  
(1997年10月1日～2015年7月7日、  
深さ0～100km、 $M \geq 4.5$ )  
2015年7月の地震を濃く表示  
図中の発震機構はCMT解



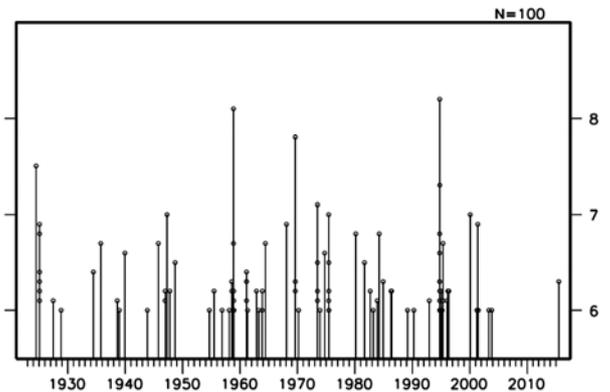
領域 a 内の M-T 図及び回数積算図 N=436



震央分布図  
(1923年1月1日～2015年7月7日、  
深さ0～100km、 $M \geq 6.0$ )



領域 b 内の M-T 図

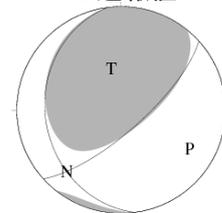


2015年7月7日14時10分に北海道東方沖でM6.3の地震(最大震度3)が発生した。この地震の発震機構(CMT解 ※速報値)は西北西-東南東方向に圧力軸を持つ型である。

1997年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺(領域a)では、M5.0以上の地震はしばしば発生しているが、M6.0を超える地震は2回目である。2000年1月28日にM7.0の地震(最大震度4)が発生しており、この地震により、負傷者2名の被害が生じた(総務省消防庁による)。

1923年1月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺(領域b)では、1994年10月4日に「平成6年(1994年)北海道東方沖地震」(M8.2、最大震度6)が発生し、根室市花咲で168cm、釧路で103cmの津波を観測したのをはじめ、北海道から沖縄県で津波を観測した。この地震により、北海道では負傷者435人、住家被害4,586棟等の被害を生じた(「日本被害地震総覧」による)。また、1958年11月7日にM8.1の地震が発生するなど、今回の地震の震央周辺(領域b)では、M6.0以上の地震がしばしば発生しているが、2004年以降の約10年間はM6.0以上の地震が発生していなかった。

今回の地震の発震機構解 (CMT 解)  
※速報値



※7月7日の震源は14時20分まで